

キューピットハウスだより NO.8

過ごしやすい日差しを感じる今日この頃。入園・進級からお子さんの新しい生活も少しずつ慣れてきた頃でしょうか。

また、キューピットハウスでは、日中の換気、アルコール消毒等感染対策を継続して徹底しております。

安心して過ごせるようこれからも気をつけていきたいです。

移転のお知らせ

令和4年2月1日からキューピットハウスの場所が変わりました。

北館1階・P2 の駐車場からすぐです。

軌道に乗るまでご不便をおかけすることもあると思いますが、そのときは気づいたことを気軽におっしゃってくださいね。

新しい建物に変わり、以前から知っているお子さんには「アンパンマンがいっぱい」「かわいい」と好評です。

キューピットハウス感染状況

キューピットハウスでは、今年に入ってから、急性上気道炎・気管支炎の他、感染性胃腸炎が流行っています。特に感染性胃腸炎の利用者は約4割を占めています。症状は下痢がほとんどです。冬の感染症の代名詞のインフルエンザの利用は0人でした。

下痢になると水分と共にナトリウムやカリウムなどの電解質も失っているため、水分だけではなく電解質も補給する必要があります。おすすめは、糖分や塩分が入っている経口補水液です。

市販のものでは、OS-1 やアクアライトが有名です。様子をみながら少しずつ飲ませましょう。



下痢のときは何を食べさせたらいいの？

保護者の方から、よく聞かれる質問です。

まずは、お子さんの便の状態をみて、便の固さを目安に食べるものを決めましょう
例えば、水様便なら水分を。泥状便であれば、ドロドロしたものを。軟便であれば、やわらかい食べ物です。

まとめると、下記のようにになります。これらはほんの一例になります。

- ① 水様便 → OS-1 やアクアライト等の経口補水液・野菜スープやみそ汁のうわずみ・おもゆ・りんごのすりおろしやしぼり汁
- ② 泥状便 → 豆腐・バナナの裏ごし・ニンジンやカボチャの煮つぶしなど
- ③ 軟便 → おかゆ・うどん・白身魚の煮つけ・野菜を煮たものなど

柑橘系のもの・繊維の多いもの・脂っこいものなど消化が悪く胃腸を刺激するものは避けましょう。

厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」では、ウイルス性胃腸炎の場合の登園目安を「嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれていること」と定めています。嘔吐や下痢などの症状がよくなっていて、食欲が戻れば登園・登校してもよいでしょう。ただし、現在は園によって登園のめやすが違うこともありますので心配な方は、園に確認しましょう。

おわりに

2019年12月に中国の武漢市で新型コロナウイルスの第1例目の感染者が報告され、日本では2020年の1月に最初の感染者が見つかったから2年が経ちました。

キューピットハウスでは、日々流れてくる情報に一喜一憂することなく、利用されるお子さんの健康管理・安全対策に取り組んでまいりたいと思います。

気がついたこと・困ったこと等あれば、いつでもお声がけくださいね。

